

釧路市役所

開催日時	平成 29 年 10 月 23 日(月) 18:30～19:20
会 場	市議会 議場
参加人数	4 人
出席議員	渡辺慶藏 議長 伊東尚悟 議員（議会運営委員会委員） 月田光明 議員（総務文教常任委員会委員） 草島守之 議員（経済建設常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会副委員長） 河合初恵 議員（民生福祉常任委員会委員、議会広報特別委員会副委員長：司会） 大越拓也 議員（都心部市街地整備特別委員会委員、水道事業審査特別委員会委員）

意 見	Jアラートが作動した際の対応について、国から示されている避難行動だけではなく、釧路市としてのより現実的な対応を示してほしい。
河合議員	今定例会においても議員から、Jアラートが作動した際に、携帯電話やスマートフォンを持っていない方への対応をどのように検討しているのかとの質問があり、理事者からは、今後携帯電話等を持っていない方々への情報伝達手段を検討していくとの答弁があった。

意 見	今後釧路市の人口が減少していく中で、コンパクトシティの構想も出ているが、将来に向けての理念や方向性を見出してほしい。また、市民の中にはすばらしい意見を持っている人がたくさんいるので、それらを吸い上げる仕組みがあるべきではないか。
月田議員	釧路市は急速に人口減少が進んでおり、まちの集約化と高機能化を図りつつ、市民が生活しやすいコンパクトなまちづくりについて議論した。 立地適正化計画は、都市機能の誘導エリアを設定し、これからの釧路の社会にとって必要な都市機能が、歩いて移動できる範囲の中で集積されていく姿を描いたゾーンの設定を行った。 今後、釧路市がやるべきもう一つのエリアの設定は居住誘導区域、今の市街化区域であるが、当初は 20 数万人の人口設定でつくったまちづくりであるので、居住エリアをコンパクトにすることによって地域コミュニティの向上を図ったり、都市機能誘導区域の周辺に住宅の集

	<p>積が図ることができれば利便性も高まるのではないかとという狙いがある。これは今年度中に設定することになっているが、釧路のまちの規模に適した居住誘導区域の設定がどこまでできるか、これは大きな課題であり、住民の皆さんとの合意を図りつつ進めていかなければならないと考えている。</p> <p>これに付随して公共交通網の形成計画についても議論を進めている。公共交通がもっと使いやすく、生活している皆さんのこうあってほしいという願いがかなうようなあり方についてどうするか。今後の運行方法の多様化や、拠点から枝葉に向けてつないでいく、これまでにない路線の設定も含めて、さまざまな意見を聞きながら、一定の方向性を見出したところだが、細部については今後も会議を重ねて進めていくべきものと考えている。</p>
草島議員	<p>水道料金問題や総合計画などのときにも市民の方々のご意見を踏まえ各種審議会を通じ議論してきた。我々議員がしっかり住民の意見を受け止め、それをまた生かしていきたいと考えている。</p>

意見	<p>議員の視察をもっとたくさん行うべきである。視察の内容を説明する報告会を開催し、市民のみならず行政職員にも参加させてはどうか。</p>
渡辺議長	<p>議会として視察の報告会は行っていないが、市議会のホームページの中で視察の詳細を報告してきている。</p>
月田議員	<p>視察の内容等は、議員個々にはフェイスブックやブログで公開しており、視察に行くだけではなく、そこからどのように発信するかは議員それぞれの問題意識や方法の中で取り組んでいる。</p>
草島議員	<p>一般質問や委員会においても、視察先での内容を市政に生かそうという議論は既に行っているため、ご理解願いたい。</p>